

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	060102010500		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	ホームページ整備事業		予算事業名	ホームページ整備事業	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		情報提供の充実を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	西山 学
取組み事項		情報発信力を強化する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		ホームページ保守		ホームページ更新			
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市ホームページへアクセスする人					
	誰(何)を対象として	相生市ホームページへアクセスする人					
	意図(どのような状態にしたいのか)	情報発信の重要な媒体として、全ての課から情報を更新し、提供できるような環境を構築し、市の業務や手続方法、行事案内等アクセスした人が知りたい情報をいち早く提供する。					
	事業の全体年度	事業着手年度	(年度)	事業完了予定年度	(年度)		

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		CMSを使ったホームページの運用を行っている。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	ホームページ更新件数	件	2,340	1,723	2,094	2,200	
	アクセス件数	件	450,280	432,854	502,525	500,000	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.200	0.176	88	0.224	127	0.224	100	
	臨時職員	0.100		0		-		-	
支出内訳	人件費	2,178,112	1,678,124	77	2,030,069	121	2,028,789	100	
	事業費	4,364,064	2,020,464	46	2,039,520	101	2,058,000	101	
	合計	6,542,176	3,698,588	57	4,069,589	110	4,086,789	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	254,000	186,000	73	90,000	48	180,000	200	
	一般財源	6,288,176	3,512,588	56	3,979,589	113	3,906,789	98	
	合計	6,542,176	3,698,588	57	4,069,589	110	4,086,789	100	

## ※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円			
	項目	29年度	30年度	1年度	2年度
全体進捗率	事業費累計				
	進捗率				

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ホームページへのアクセス件数(1月あたり)							
指標説明(式)		年間アクセス数÷12							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	38,000	38,000	100.0	38,000	100.0	42,000	110.5	
	実績	37,523	36,071	96.1	41,877	116.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

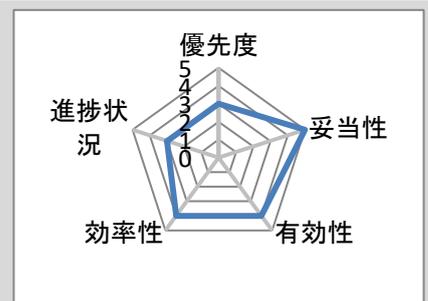
指標名1		1アクセスに要する経費							
指標説明(式)		事業費(人件費含む)÷年間アクセス数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	9	9	100.0	9	100.0	9	100.0	
	実績	14.5	8.5	58.6	8.1	95.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	インターネットやスマホなどによる情報の取得が一般的となっていることから、情報提供や情報公開の手段として非常に重要である。	5
	市民ニーズ	ウェブアクセシビリティに配慮し、誰もが分かりやすいホームページになっている。	
有効性	成果目標(改善)達成度	分かりやすいページとすることで、アクセス件数が伸びている。	4
	市民サービス	それぞれの業務担当において、市民のニーズに迅速に対応できる情報提供が可能となっている。	
効率性	手段の最適性	担当部署でCMSを操作してアップできるため、迅速に情報を提供できる。	4
	コストの節減	ホームページによる情報提供は、多くの情報を広範囲へ迅速に行うことができ、用紙や印刷に係る経費及び労力が節減できる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各業務担当において迅速な情報提供が図れるよう、ホームページのチェックとCMSの操作指導などを個別に行っている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	引き続き、市民のニーズに対応した情報提供を行っていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	各部署において、各ページの更新・リンク切れのチェックを行うよう啓発し、意識の向上を図る。

配点	32.5
総合評価	24.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	誰にでも分かりやすく見やすいホームページとなるよう、ページの統一性、ウェブアクセシビリティの向上を図る。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持